

2022年3月期 第1四半期 ダイジェスト資料 (1)

【1Q実績及び通期計画】

(連結) (単位:百万円、%)

	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期							
		1Q実績	前年差	増減率(%)	通期見込み	期初計画	計画差		
連結									
売上高	279,305	294,947	15,642	5.6	1,180,000	1,180,000			0
加工事業本部	114,365	118,265	3,900	3.4	-	-			-
食肉事業本部	160,497	162,599	2,102	1.3	-	-			-
海外事業本部	55,752	60,442	4,690	8.4	-	-			-
その他	2,220	4,408	2,188	98.6	-	-			-
消去・調整	△ 53,529	△ 50,767	2,762	-	-	-			-
事業利益	9,230	12,425	3,195	34.6	48,000	48,000			0
加工事業本部	2,754	3,323	569	20.7	15,000	15,000			0
食肉事業本部	8,529	9,524	995	11.7	37,000	37,000			0
海外事業本部	△ 110	△ 229	△ 119	-	500	500			0
その他	△ 411	377	788	-	△ 1,200	△ 500			△ 700
消去・調整	△ 1,532	△ 570	962	-	△ 3,300	△ 4,000			700
税引前利益	13,035	14,739	1,704	13.1	43,000	43,000			0
法人所得税費用	3,972	4,743	771	19.4	13,500	13,500			0
親会社の所有者に帰属する当期利益	9,384	9,906	522	5.6	30,000	30,000			0

※当社は、2022年3月期第1四半期より、新たな事業領域への拡充を図る目的で、球団事業及び新規事業等を「その他」に区分して開示しております。また、2022年3月期第1四半期より、報告セグメントの業績をより適切に反映させるため、売上高の算定方法を変更しております。業績をより適切に反映させるため、売上高の算定方法を変更しております。

【海外事業本部の内訳】

(単位:百万円、%)

	2021年3月期 1Q実績	売上高比(%)	2022年3月期				
			1Q実績	売上高比(%)	前年差	増減率(%)	通期見込み
海外事業本部計	55,752	-	60,442	-	4,690	8.4	-
外部顧客に対する売上高	26,194	47.0	30,867	51.1	4,673	17.8	-
セグメント間の内部売上高	29,558	53.0	29,575	48.9	17	0.1	-
事業利益	△ 110	-	△ 229	-	△ 119	-	500
豪州	19,327	-	21,701	-	2,374	12.3	-
外部顧客に対する売上高	15,804	81.8	18,393	84.8	2,589	16.4	-
セグメント間の内部売上高	3,523	18.2	3,308	15.2	△ 215	△ 6.1	-
事業利益	△ 414	-	△ 227	-	187	-	△ 40
米州	21,109	-	23,664	-	2,555	12.1	-
外部顧客に対する売上高	4,832	22.9	5,979	25.3	1,147	23.7	-
セグメント間の内部売上高	16,277	77.1	17,685	74.7	1,408	8.7	-
事業利益	741	-	90	-	△ 651	△ 87.9	1,420
アジア・欧州	15,810	-	15,467	-	△ 343	△ 2.2	-
外部顧客に対する売上高	5,559	35.2	6,495	42.0	936	16.8	-
セグメント間の内部売上高	10,251	64.8	8,972	58.0	△ 1,279	△ 12.5	-
事業利益	△ 190	-	148	-	338	-	70

※2019年3月期第1四半期よりIFRSを適用しております。

※事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益 を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

【設備投資額、減価償却費】

(連結) (単位:百万円、%)

区 分	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期			
		1Q実績	前年差	増減率(%)	通期計画
設備投資額合計	10,547	8,276	△ 2,271	△ 22	81,700
加工事業本部	4,388	3,102	△ 1,286	△ 29	17,150
食肉事業本部	1,683	1,420	△ 263	△ 16	26,000
海外事業本部	1,186	1,039	△ 147	-	7,000
その他設備	3,290	2,715	△ 575	△ 17	31,550
減価償却費	8,388	8,925	537	6	34,600

(中期経営計画2023の進捗) 単位:百万円)

区 分	中期経営 計画2023計 画
設備投資額合計	248,000
加工事業本部	45,700
食肉事業本部	78,100
海外事業本部	18,800
その他設備	105,400
減価償却費	112,600

【売上実績】

(単位:百万円、%)

品 種	2021年3月期 1Q実績	2022年3月期				
		1Q実績	前年差	増減率(%)	数量 伸長率(%)	通期見込み
ハム・ソーセージ	31,704	30,791	△ 913	△ 2.9	0.2	132,500
加工食品	53,045	57,426	4,381	8.3	3.6	223,600
食 肉	162,267	169,224	6,957	4.3	△ 1.1	674,300
牛 肉	61,464	65,424	3,960	6.4	△ 12.6	260,400
豚 肉	56,547	54,992	△ 1,555	△ 2.7	0.4	223,600
鶏 肉	39,750	43,876	4,126	10.4	3.8	169,600
その他食肉	4,506	4,932	426	9.5	20.0	20,700
水 産	15,842	17,497	1,655	10.4	5.2	77,300
乳製品	8,000	8,631	631	7.9	0.2	32,100
その他	8,447	11,378	2,931	34.7	-	40,200
合 計	279,305	294,947	15,642	5.6	-	1,180,000

2022年3月期 第1四半期 ダイジェスト資料(2)

【セグメント別事業利益見込みと事業利益増減計画差要因】

[連結計]

(単位:億円)

売上高	1Q実績	2Q見込み	上期見込み	下期計画	通期見込み	期初計画	差異
加工事業本部	1,183	-	-	-	-	-	-
食肉事業本部	1,626	-	-	-	-	-	-
海外事業本部	604	-	-	-	-	-	-
その他	44	-	-	-	-	-	-
調整消去	△ 508	-	-	-	-	-	-
計	2,949	2,851	5,800	6,000	11,800	11,800	0

(単位:億円)

事業利益	1Q実績	2Q見込み	上期見込み	下期計画	通期見込み	期初計画	差異
加工事業本部	33	26	60	91	150	150	0
内)水産・乳製品とエキス・一次加工事業品	5	4	9	28	37	39	△ 3
食肉事業本部	95	85	181	189	370	370	0
海外事業本部	△ 2	11	9	△ 4	5	5	0
その他	4	4	8	△ 20	△ 12	△ 5	△ 7
消去調整	△ 6	△ 11	△ 16	△ 17	△ 33	△ 40	7
合計	124	116	240	240	480	480	0

[加工事業本部]

(単位:億円)

事業利益	1Q実績	2Q見込み	上期見込み	下期計画	通期見込み	期初計画	差異
既存事業	△ 2	△ 4	△ 7	△ 15	△ 22	△ 22	0
(外部要因:主原料等)	2	△ 3	0	△ 20	△ 20	△ 20	0
(内部要因①:数量拡大)	0	0	0	1	1	1	0
(内部要因②:改善活動)	△ 5	△ 2	△ 7	5	△ 2	△ 2	0
ベンダー、物流事業	2	5	8	2	10	10	0
水産・乳製品、エキス・一次加工品	9	△ 2	7	1	8	8	0
DX費用	△ 3	△ 10	△ 13	△ 14	△ 27	△ 27	0
合計	6	△ 11	△ 5	△ 25	△ 30	△ 30	0

事業利益昨年差要因(1Q)	
主に豚肉原料を中心に昨年より価格が下回った。	
主カブランド育成に向けたTVCM費用の増加等で昨年を下回った。	
ベンダーの主力商品の売上伸長に伴い増加した。	
水産品の量販店及び寿司店等の外食チャネル向け販売が伸長した。	
通期計画は変更なし。	

[食肉事業本部]

(単位:億円)

事業利益	1Q実績	2Q見込み	上期見込み	下期計画	通期見込み	期初計画	差異
輸入食肉市況	19	6	25	△ 7	18	2	17
国産食肉市況	3	1	4	△ 9	△ 5	△ 2	△ 2
国内ファーム事業	△ 5	△ 9	△ 14	△ 12	△ 26	△ 21	△ 5
フード事業の伸長	△ 6	0	△ 6	0	△ 5	4	△ 9
DX費用	△ 2	△ 10	△ 13	△ 13	△ 25	△ 25	0
合計	10	△ 12	△ 2	△ 40	△ 42	△ 42	0

事業利益昨年差要因(1Q)	
主に輸入鶏肉の在庫ポジションの改善や相場回復の中、価格転嫁も進み昨年より大幅に増益した。	
国産豚肉が昨年より相場安で推移したが、販売価格の維持に努め昨年を上回った。	
国産豚肉の生産数量の減少や軟調な相場に加え、飼料高が影響し昨年を下回った。	
量販需要の落ち着きで販売価格が伸び悩む中、相場が高騰。価格転嫁が追いつかず昨年を下回った。	
通期計画は変更なし。	

[海外事業本部]

(単位:億円)

事業利益	1Q実績	2Q見込み	上期見込み	下期計画	通期見込み	期初計画	差異
豪州	5	7	13	3	15	0	15
ウルグアイ	△ 4	△ 1	△ 5	△ 1	△ 5	3	△ 8
米州	△ 7	△ 4	△ 11	△ 2	△ 13	△ 8	△ 6
アジア・欧州	3	3	6	3	9	10	△ 1
その他	0	0	0	0	0	0	△ 0
合計	△ 1	5	4	3	6	6	0

事業利益昨年差要因(1Q)	
世界的な需要増加で販売価格が上昇したことで収益を確保した。	
牛の生体価格上昇及び中国の禁輸措置により販売数量が減少し昨年を下回った。	
鶏肉加工品原料や日本向けの豚肉調達価格が高騰し昨年を下回った。	
タイから日本向けの輸出数量が拡大し昨年を上回った。	

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。